

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の  
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

▶ 新型コロナウイルス感染症への対応と  
影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

## 新型コロナウイルス感染症への対応と影響

森永乳業グループでは新型コロナウイルス感染症の発生以降、感染拡大を防止するため、さまざまな対応を行っています。

### 支援活動

#### 国内での取り組み

森永乳業グループでは、医療従事者の皆さまや、自社の従業員に向けた支援を実施しました。

株式会社クリニコでは、医療施設へマスクやフェイスシールドを寄付する企画（参加企業43社）に賛同。マスク200万枚を15,500施設へ、フェイスシールド58,000セットを2,600施設へ提供しました。また、従業員の健康に配慮し、株式会社シェフォーレでは「カラダ強くするのむヨーグルト」を従業員に無償提供しました。

森永乳業は2021年3月、新型コロナウイルス感染症拡大防止に尽力されている全国の医療機関および医療従事者の皆さまへの支援にお役立ていただくため、特定非営利活動法人ジャパンハート（以下ジャパンハート<sup>\*</sup>）に1千万円を寄付しました。

また、森永乳業は2020年10月から2021年3月にかけて、企画趣旨に賛同いただいた得意先チェーンストアの皆さまとともに、森永乳業商品を購入いただいた売上げの一部を寄付する「つながるエールプロジェクト」を首都圏支社従業員の発案で展開しました。関東甲信越エリアを中心に29のチェーンストアの皆さまにご賛同いただき、2021年5月に特定非営利活動法人ジャパンハートに12,127,083円を寄付しました。また、北陸支店でも得意先とともに、森永乳業商品を購入いただいた売上げの一部を寄付する「おいしいでつながるエールプロジェクト」を実施し、得意先を通じて石川県と富山県に合わせて810,636円を寄付しました。

<sup>\*</sup>ジャパンハートでは、医療崩壊を防ぐための医療チーム派遣や、感染拡大防止のための現場指導（国内介護福祉やアジア途上国）、医療物資等の無償提供などの活動を行っています。

#### 各種支援の例

組織	対象	内容
森永乳業首都圏支社	子どもが生まれたばかりのご家族	病院での栄養士の調乳指導ができない施設が多いため、退院後にオンラインで調乳指導の機会を提供。
森永乳業西日本支社	病院	「カラダ強くするのむヨーグルト」の提供
株式会社クリニコ	全国の医療施設	医療施設へマスクやフェイスシールドを寄付する企画（参加企業43社）に賛同 ・マスク 200万枚を15,500施設へ ・フェイスシールド58,000セットを2,600施設へ
森永乳業北海道株式会社	北海道内の医療従事者など	商品の無償提供 「保証はぐくみ牛乳200ml」：合計4回31,760個 「カラダ強くするのむヨーグルト」：1,700個 ロングライフ牛乳：1,200個 「牛乳プリン」：2,500個
株式会社シェフォーレ	従業員	「カラダ強くするのむヨーグルト」約20,000本の提供
株式会社サンフコ	研究開発担当者	新型コロナウイルスに関する海外の状況について情報提供
広島森永乳業株式会社	広島市	N95マスク 1,180枚の提供
沖縄森永乳業株式会社	那覇市医師会	N95マスク 480枚の提供

#### 海外拠点での取り組み

ドイツのMILEI（以下ミライ社）では、コロナ禍において苦しい状況にある地元の方々への支援に取り組んでいます。

2020年には、地域の老人福祉施設を訪問し、特に行動を制限せざるを得ない高齢者に向けて、食事の提供や屋内の装飾を行い、明るくコミュニケーションを図れる機会を提供しました。

また、地域の低所得者向けに食料品を配布している慈善団体へ、新たに購入した食料品を寄贈しました。

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の  
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

▶ 新型コロナウイルス感染症への対応と  
影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

## 事業活動における感染拡大防止

安全・安心な商品製造のための製造現場での  
取り組み

新型コロナウイルス発生前から製造時にはマスクを着用し、徹底した衛生管理を行っています。新型コロナウイルス感染症拡大防止という観点からも、マスク着用・手洗いの徹底、製造現場やドアノブなど共用部の清拭・消毒、従業員更衣室の入室人数制限・換気強化や入室前後の手洗い・消毒の実施など、厳格な管理のもとで製造をしています。

REPORT

- ▶ 「生産部門における労働安全衛生の推進」 P.60-62 参照、
- ▶ 「安全かつ高品質な商品提供のための体制づくり」 P.66-67 参照

## 取引先との取り組み

これまで対面で行っていた会議や監査、セミナーをオンラインに変更しました。また物流においては、荷主として新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組むため、協力会社に感染予防策の徹底を依頼するとともに、注意喚起のメールを定期的に発信しました。

REPORT

- ▶ 「原材料リスクに応じた効率的なサプライヤー・マネジメント」 P.64-66 参照

## 従業員の安全確保

業務の特性上、テレワーク化が難しい業務を除いて、原則として在宅勤務可能としました。

ダイバーシティ&インクルージョンの目標値である「在宅勤務・サテライト勤務制度の利用者数を2027年に1,000名」を大きく達成する約1,980名が在宅勤務を行い、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めるとともに、時間資源の有効活用による業務生産性の向上および仕事と私生活の両立にもつなげ

ることができました。

出社が必要な職場では、ソーシャルディスタンスを確保するため、執務室の分散や飛沫拡散防止のためパーティションの設置を行いました。

また、健康経営の一環として森永乳業グループ事業所の従業員へ、腸内環境を良好にし、腸の調子を整える「ビフィズス菌BB536」や「ラクトフェリンオリジナル」のサプリメントを配布し、体調管理をサポートしました。

REPORT

- ▶ 「柔軟な働き方を推進する制度」 P.58 参照

## コミュニケーション

## 株主総会

株主および運営に携わる当社関係者の安全を第一に、さまざまな対応を行いました。

- ・ 来場抑制：議決権の事前行使・インターネット行使依頼
- ・ 感染防止：マスク着用の呼びかけ、座席間隔を空ける、消毒液の設置、受付に遮蔽板の設置、来場者の検温、第2会場を設定して席を分散し総会の配信、飲み物の提供中止
- ・ 時間短縮：議長シナリオの短縮化（重要な事項に絞って説明）、質問数を1人1問に制限

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の  
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

〉 新型コロナウイルス感染症への対応と  
影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

## 次世代育成活動

2020年2月より工場見学、企業訪問、出前授業の受け入れを中止。その後、オンライン開催として順次、再開しました。

その他の次世代育成プログラムも、オンラインで開催しました。

オンライン化した活動：森と食の探検隊オンライン座談会、オンライン出前授業（小学校）、オンライン企業訪問（中学校、高校生、高専生）、企業インターワーク、ツアーオブバレーボール×オンラインバレーボール教室、エンゼル110番オンライン座談会



▶「オンラインでの取り組み」P.80 参照

## シンポジウムや展示会を通じた技術情報の発信

多くの学会発表が中止や延期となりましたが、ウェビナーやバーチャル展示会、SNSを活用した情報発信に取り組んでいます。



▶「シンポジウムや展示会」P.30 参照